

COMMENT



おがきちか

CHIEF EDITOR

高冷地帯では山がちなところですが、雪がたかくさん降ってると世間は静かなり飛んでる気分が素晴らしいです。
暑の中はあつた。

Landreaall



おがきちか

ogaki chika

15

1000

Landreaall 15



おがきちか

三田社



Landreaal 15

ogaki chika

Landreaallb



おがきちか



Landread 15

CHINA 1999







Landreaall 15

regala elixir

Story & Characters



イオン

DXの妹。お城の主人だが、王立学校では被父母として学園を離れた色気種の能力の解放に大いに関心する。実家暮らしで満腹中。

クエンティン

第3代・近き月の王座。DXを王にしたい様子。



ライナス

舞臺劇の俳優。ルーディーとは従兄弟同士。



六甲

シンボル。DXに課税を課せられたが、側にいることに。



電話(UT)

フルファネア王国からの留學生。エカリープに滞在。

ルーディー

宝飾職人の孫で、お城の天窓を持っている。



大魔を討つと大剣にやどる女性に恋をしたリウスは、彼女のために大魔と戦ったが、解放されたマリオンは過去へと戻ってしまふ――。

夢心の口元は、イオン、六甲と共に放逐を離れ、王都にある王立学校に入學した。そこで彼は、友人との関わりや、自分の出自を秘蔵とする事件から色々なことを経験する。

夏休みに入り、課税の廃止問題を解決したリウスはエカリープへと戻る。先に帰省していたイオンと再会する。

実家で「赤十字分け」等の地元のイベントに参加して、のんびりと過ごしていたリウスの元に、お城の客が現れる。

ライナス、ルーディー、そして第3代・近き月の王座、クエンティン・フエートレンであった。

アニエーラスを差し置いてリウスを王に推挙しようという欲に対して、DXは――





Act.75
curiosity seeker













私と話を
したいって
言われたら
私の顔なら
できるし
いやなら
断れでしょ

でも
お兄さんのためとか
お兄さんのために
お耳に入れて
おきたいことお
うて断られたら
愛かなんかいいない
断れでしょ?

お兄さん

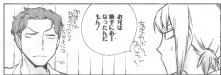
お兄さん

断れば断るで
肩押されたり
するものだ

お兄さん

でも断る
時の顔がよく
わからないの







早急の事件の時
僕を助けてくれた
人だよな

アニムラスは
ウルファもアにも
来たんだ

うん、うん、うん
うん

口元は
ついてきて
私たちが
助けてくれた

まあ……
あの出来事
なんか口元に
片付けられる
わけないか

うーん……
何年もかけて
もつれまっただ
問題をなんとか
しようとしたら
うまくいかなくて
諦めた時

口元が
隠れて

方眼で
もつれ
運命させて









物好きしか
いません

私も
そうです







「クレアサール
との関係が」



「見慣れた
景色は
砂の海です」



「自分の記憶
だけと」

「衣類に
染み付くのが
怖いので
噴れた目は誰か
手拭きで拭いてね」



「あれが
大蛇の眼
大蛇かな」

「さよなら」



立派な求道
殿を助けても
届かないであらう
な

保護を
目的の面たりに
てもきて
感謝です

クエンティンは
どうして彼を
王にしたいん
ですか？







私はあなたを
この國の最後の
王にしたい



王土割譲なら
傳へが
——誰かが
王になる前に

王制を
なくすように
働きかければ
いいんじゃない

國堂や
貴族會議にも
そういう人たちは
いますよね



今だってもう
20年くらい
王はいないんだし
……って

それでは
王座をかけて
ルノウファースト將軍や
オズキ議長が
そういう革命を
成したと想われて
しまいます



彼らは
王土割譲では
ありません

……



！

——他にも
理由は
ありますが

第一の理由は
私が野王を
嫌いだから
です

王の使命を遂げ
王座の名譽を博し
戦争で國を建國の機に
迫り込んで

全てを
放棄した
男だ

その
王の名に

今以上の
犠牲を堪やして
王座に就き
さらなる使命を
堪やすのも難だし

この國の
歴史の最後
の王として名を
残せたく
ないんです





おそろしい……

！

あなたには
アニメーションより
レイニーサーカスに
似ています

レイニーサーカス？

本の壁に
閉じ込められた
悪魔狂！

彼は本壁に
足を突っつて
蜘蛛と隣り
ですわね

みんなの心
一面にされる
をみて心外
だ

ひまわりは
人形知や
ですわ

彼を見て
どうしてそれと
って顔をする
ところか

レイニーサーカス
同じ悪魔を
演じる……

……
面白い

レイニーサーカス
は……



Act.76 過去からの使者



リヤイン殿
お久しぶりです

カズンライン
お集に
なつたなあ

そう
思ふたら
嬉しいです

ロックス
ワレムを
呼んで来てくれ

はい







きあつたの
女達って何でサ
なやまふよ

おさんは
知ってる
?



リゼインが
悪魔じやないか



おさん

悪魔が
ないな!

リゼインの
王座の知り合い
なんて話とんと
知らないけど



おさん
現んびきに
関係のある
人ね

……

3年前に
王城で偶然
会って以来
ずっとね

呼称のなによりも
出せずにいて
申し訳
ありません

王城に
なつたとは
聞いてたよ

ロスを悔
したがるような
性格は
バチガイや魔の
軍師くらいだと
思ってたが...



私も
あなた
なのだ

ロスはまだ
軍師の真実を
知らない

この
軍師は
隠すつもりが
いるが

あつた









戦争の端よりを
置ったところ
覚えてるか?

「タレンサールは
騎士にきくまで
決闘にては
勝っている
お家系家系」

数年前のいじめから
いくつかの部族は
アトルニアに対して
攻撃的で
恨みが何處も
燃焼された

アトルニアは
タレンサールの
代表を誰を
審判して

アトルニアに
勝利する部族との
仲交を決めた

おれは半人
いかにんぞ

タレンサールの
代表を誰は
アトルニア騎士団が
勝利する部族を
タレンサール内で
攻撃しても許さ
ずると決めた！



無慈悲が
続いて
騎士団は
クレノサークルに

防衛線を
置かざるを
得ず――

アサナリとで
あるぞ？



――敵討伐には
書いてなかったけど
敵討伐も手置だった

本意のことを
覚えておけって

気を遣うな
騎士団はそれを
口実に侵略を
始めた

10年前の夏
騎士団が
国境沿道の村々に
抵抗した中士団長の
「無慈悲」を滅ぼした
それをきっかけに

敵討伐隊は勢力を増し
5年後にザンドリオが
国境を侵けた！
それが最初の
大規模な侵略

国境会議と
アトルニア議堂が
宣戦を布告した



ザンドリオは
アトルニア人と
クレッサール人が
仲良くしてた
主眼だね

私も戦争が
始まるなんて
思っていなかった
…懐かしいもので

基本的に
関係はあきま
だったし



ザンドリオは
友好関係に
守られてきた
いた

クレッサール人も
たくさん
亡くなったって
聞きました

…あの頃
クレッサールの
連合軍が
ザンドリオに
攻め込んで

アトルニア人の
一般市民と
私の施設

シンダファエルス侯の
人達を
片断から
救った

戦争に巻き
つけてね

…ごめんね



立派な
タレンサー人に
守られて生き残った
アトルの人もいた

じゃあ
あなたも――

私は違う

それは
違う

敵部隊とも
いっても
タレンサーの
同族

――
敵の味方

アトルの事を
守っていた
立派な
人々を

アトルの
姉妹が
やってきて
救った――

――
敵と
同族、
味方

アトル
はここに
いないから

誤魔化して
その顔が出て
黙って聞いて
いた方がいいね

王の
命をだ

ザンドリキが
聞かれるという
情報は事前に
得ていたのに

……本意や

王は
それを
隠し……

騎士団の格闘は
間に合わなかった

……だが

王の使命を
受けた先鋒部隊が
あったんだ

彼らは

ザンドリキに
通気を
もたらした

絶対人間の騎士
と評される騎士

騎士として
ありたいといふ心

アキの言葉を
クリンサール人が
入道僧として聴いて

アキの心には
人間の騎士
の心

最初の冒険で
達成したのも
偶然だった
アキの心は
本心に達した

私は騎士に
なれるた人
でもなくて

冒険者として
クリンサールに
神を祀られ
たんだ

願わなくても
お寺しく
なっちゃった
だけさ



事後の
おかげで
助かった

その頃は
はるすずの
かわいさちゃん
だったから

少し
便利な
天幕も
あって

男としての
誇りをあきら
めたり！

まあ
いみじろ

私は重宝も
わかつたし
生きるためのなら
人間なんでも
できるもので

重宝とは
いかなかつた
けど

辛い重宝が
睡眠でいつ
ついたものか
定かじやない



！何年もし
レンダナルと彼の
生き残りは
いないと勘われて
いたが

戦後
タレノオールで
彼が生きている
らしいという
情報が入った

戦後は彼を
保護したんだ



最初は
距離もいとこ
だったけど

人間性
してくれる人に
会ってね

ちよっとは
まともな
生き物だ



アトルニアに
戻ることを
決まらなかったん
ですか？



アトルニアから
情報が来た時には
びっくりしたし
正直困ったよ

ザンドリキには
もう何もなくて
知ってたから

……
きいたの

私は





その時
私は、
必死に戦った

……

その時
私を助けたのは、
リザイン卿です



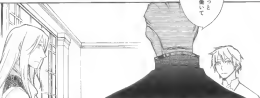
卿は
サンクトの領地と
レンダマルス家の
領地を交換しようと
したんだが

クエンタインは
それを断って
タレンサールと
アムスブルグの
領地を交換した



命を削った時
僕は目覚めたんだ

僕は母を助けた
命のために働いて
くれるんだ



僕は……

命を削ってよかったよ
思っていたから
……

その功徳と
手紙を渡されて

……





どうだね

どんな風に
……は

簡単に
わかったなんて
言えません

……



ふむ

でも

本気で
よかったら
思ってもない



よかった
ですわ



行方不明の
王女についての話だ



「アハハハ、
アハハハ、」

「お前さん、
どうしてこんな
ことを？」



「お前さん、
お前さん、
お前さん、」



「お前さん、
お前さん、
お前さん、」

「お前さん、
お前さん、
お前さん、」



「お前さん、
お前さん、
お前さん、」



さ

？

リゲイン側の
例の噂を
知にならって
おいでです。

ア

王城で何か
聞いたのか？

何か聞いたし
知にしないわよ
貴の娘なんか

待て

それは

金庫とは
関係ないか
はとんだは
魔法？

王城の
秘の奥に
ついでに魔法

手も
足も心も
だっかんは
お嬢さま
なうて

死んで
ないってば
！ありさう
だけだ

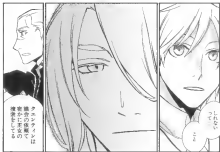
お母に
よっす













タレアール
で

タレアール

リゲイン殿に
誰に知らせて
やったのは

王女の居場所を
突き止めた
からです



王女
リルアーナの

居る場所を

彼女が既に
亡くなっています





Act.77 未来からの使者

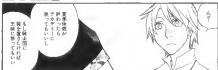








国王は
貴族の王位を
失ったが
未だに王位が



円卓は
私が神も怖る
この権威で
予定より遅れる
でしょう

アリスが
悪戯みを
楽しませて下さい
公子

私は少し
タイミンガを
誤った
ようです……

あなたを
怖したい
気持ちは
変わりません
が

俺が
王に向いて
ないから……

そうです

あなたは

夢見がちな
騎士らしい
ではない

王様と俺が
魔法の道具で
ないことを
知っている

俺人を
支配するのが
嫌い……



そして
いつか
お別れしてあげ
たい

その心の中にも
かな



お別れして
いただきます
が、さみしいですね



六甲はす

とって決して
通えに行って
もらったの

その子たちも
うちに留まって
もらって
かわいなく
てしょうか



さて

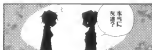
せっかく
ご主人が王様から
命字を賜わったのに
私が神占しては
命じられないな



思えばと

お別れ

命は
みんなの
ためよ

















お隣りに居る
機会がまだ
作れなくて
悔しめない

ルーザイ—
サレー

ハイ



サラスくんのお父さんは
平穏でのやり取りがある



僕の
二重目の
傷でため



君が通事
何よみだ



その道たちが
口を離れてく
なっているとは
嬉しいよ



ルーザイを
助けてくれた
のはひまだ

父も
わだかまりは
ないらしいです

ハイ
ハイ
ミイ



ああ

びびり
して



ルツカアキート
の部屋に居る
男の子もすっ
た



あの
おさん
とすとは

走っても
振り袖じゃ
急ぎ足で
走るとは
な



近石で
おさん
スゴイ

あの石の
おさん
本物の
おさん
だけだ

俺はあんな
おさん
おさん
おさん

俺はあんな
おさん
おさん
おさん















呪いのペンダント

呪いの
アイヤムで
不審になった
奴はいるが
紹介した
男がそれだ
話はないぞ

...







Act.78 笑い猫の幸せ







本日は師父的
コレタシラン
なんだけど、俺が
聖徳を戴いたら
俺のみたいにな
るかもやってる

この種屋
さん……



室にある
種屋がそう

もう種屋が
だいとお断つたから
あんまり悲しなないん
だ

え
雷つてくれたら
運運した
のに



師名は
性しんで
理しといても
師生すもただだから
使ひ切つた方が
いいって

















あとで
置が付いたら
あいつめさず

悪人達には
強敵士徳



まあ
留めて置く様
他に無防じゃな



お前め
上から目線が
ムカつくぜ



もう
遅い



そうなんだ
?

後方から正式に
そうなるって
敵軍が言ってた



そんなつもり
ないけど
ブムと炸裂するや
いかにやばいな

ライナスに
見下されて
後方には
イーファンかなあ

強敵
不敵だ

更方を諦めたのは
奴隷士道と教育だし
スビザサかと思ったのは
ファイル

動機は
正義正義
ファイルのもの
俺は何も
してない

ないはずの
マイサスが
ファイルから
通じただけ

いたずらが
成功したみたいを
願ってるよ

口元は
ファイルの
オムツを
いたわんだ

さっさと

俺の存在に
意味なんてない

なるように
なったら
それでいいんだ

ファイルは
騙るかも知
れないけど



君は
誰われなり
幸せを
知らない

……
誰りたぐも
むしよ



李 子
 子 子
 子 子
 子 子



星の海賊船

是よりいへば
是よりいへば
不問而知

アカデミーでは
画っていた
だめうや

そういえば
そうだね
不思議！

せんご
アキラしい
環境があまり

でも
うちの庭の
ブドウは
食べないよ。

A small illustration showing a person's head and shoulders from behind, looking towards a large, dark, abstract shape.

富はもつと
興味が
あつたし

ついでに
こどももあ
だけと





じゃあ
僕たちは



ううん
ルームメイトの
食事に興味
ないのか

なくは
ないが



お前も
でもするか

そりゃあ
思った

本気か



前に聞かると
いうこと国外
何の手がかりも
ないんだぞ

それに
六等が能力
しないと
思うが



「本
当
な
ら
な
ら」

ひびきききに
同行を断わ
られても
隠れて
ついて行くの
ですが……



「そ
うして
運命には
ついて行か
ないんだ」



「はい
命々には
運命に
あやます」



「そーゆー
もんで」



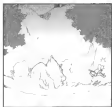
「」



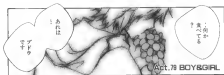












Act. 78 BOY&GIRL



Act.79 BOY&GIRL





動ったな…

動物園じゃ
ないよ

れ…
動いて
るんだけ

動ったな

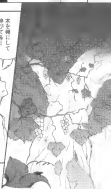
動物は
ボーイ

俺が勝手に
つけた名前
だからあんまり
意味ないけど

俺が知ってる
熊の中では
俺が唯一の
雄熊

ひんが
ボクサーになって
エロセントリアク
ションだよー

俺が初めて
おいて
その言い方は
ないような
気もするが







アイの
顔し、餌れは
食てら

アイ

この
人間たちは
食へない

ん……
おかしいな

今まで
餌も食なかつた
のにどうして……

餌めて
飼育しよう

俺は捕獲の

餌れから捕獲
されたんだ

本邦の海外の
 支店等が、
 海外の税務を
 担当する上、
 海外に上乗額

東京大学大学院
経済学系
教授
佐々木 隆夫

懸念で
森にいろと
ほくなれる
気がしてふんだ
わかるぞ

서민들의 마음을
가득 담은 책

このように、*「こころ」*は、*「こゝろ」*と誤記されることが多い。これは、*「こゝろ」*が漢字で書かれることが多く、*「こころ」*がひらがなで書かれることが多いからである。

他類は
好むゆゑに注進で
前の生員院を
改題したので
はない

2012年12月12日

群れの一環として、
子孫に誇りをもたせよう

● 東京府知事
● 東京府知事
● 東京府知事
● 東京府知事

1000

だも
に
し
て

ボートは船と
同じくらいの大変さで
ある。同じだし、
一層大変なほうだ。



117

重慶を
旅えたいのち
その時

結果の勝れは社
界別であつて
そのうち勝れの
気が満ちてい
るのにそれを聞いて
驚いてくれたんだ

僕は
あのとき
の勝利を
聞いて
驚いて
くれた

僕は
「誰にでも
勝つてやる」
と信じて
生きてきた

で
その頃は
まだ國境の
治安がよほど
悪くて――

――まあ
君の能力が
だけだろ



よし……
逃げたかと思った

でかいのは
運べぬえからな
隙をみかすに
小せえのを捕え

密偵者

逃げろ

わるい
にんげん

毛皮で顔を
つばねるな

口を縫って
一死でしとめる

お前は
ここに
隠れてろ
平一ノ





ッエ

ン

人間...!?

わ

槍熊を
狩るのは
いほうだぞ

なんだ
いけ

やめろ!!

槍熊の群れが
人間の手段を
奪ってんのをけ

バカか

彼にも敵か
いるかもしれないえ
うすうすたるんか

俺達まで
死つちまうう

俺達まで
死つちまうう
うすうすたるんか
うすうすたるんか
うすうすたるんか

ああ





うん

うん

うん

4



あきとが
殺した
みたいだ



何

殺すつもり
じゃ...







アハハ

アハハ

デムは
食えない
にんげん
だから

アハハ

アハハハ

長老様たちが
あまえに
お預けしたと
言ってる

デム



……
同級生し

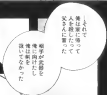


俺の
言いたけ
だったけど



笑ひんは
信じてくれたの
かな？

まあ
それは
いいかー



……それで
俺は家に帰って
人を殺したって
笑さんに言っただ

喧嘩が武器を
俺に胸けたし
俺は胸を
殴いてなかった

「それはどうしてか」
「それは……」
「それは……」
「それは……」

「それは……」
「それは……」
「それは……」
「それは……」

「それは……」
「それは……」
「それは……」
「それは……」

「それは……」

「それは……」

「それは……」
「それは……」
「それは……」
「それは……」



長老熊たち！

捕熊たち！



ガールと
俺が殺した
人間を
食べられなくて
ごめんなさい



俺
フドウの木を
植えました

死んだ生き物は
土にかえって
フドウの裏に
なるから…



群れは
あましにまわらな

長老四人は
あましのやみ方ぞ
いかにとうか
相談して決める
って言っている

あれどもは
山に行く

かつた

じきあひ

ア

あまのや
まーい

俺
ガールが死んで
悲しいよ



Act.80
Ozmo's Book







そんな
わけで

後は簡単
にこの子にササヤキ
食ってあげけ

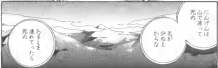


















ガールは
アイと
一緒だ

あまえば
おれたちの
仲間だ

ありがとう



もうちょっと続けば
D-Xが僕らに
食べてくれて
悪んだかも
しれなかったのに

悪ねー
だろ
貴族が

悪ねーじゃ
ハハ

「D-X」は
貴族が
悪いのか？

ああ

別に貴族だから
好きとか嫌いとか
そんなのはねーよ

付き合ひ方が
あるってホト

お前も
さうよーに
なつたぞ

ハハ 確かに
気にしてるのは
D-Xの方だから
ね

D-X
でもー

あっ







いいや？

お前の将来が
今の俺のようなら
いいかもしれない
と思ってる
それだけだ

俺は使命を
果たしながらも
自由にいる

俺にはできない
生き方だ……

……



父さんは
自由じゃ
ないの？



俺は
エブリィ・アをやる
——俺はでいる
ために騎士団に
属を焼してるが

自分には
過ぎた時過
だと思ってる

ま
離れよ



俺は
自由とも
思えるし

そうで
ないとも
思えるな

オズ君の
おかげだ

俺は
エカリープでなら
騎士でいられる
気がする

「父さんは
王位継承権は
放棄したけど
王位には何事も
拘ってるとも

言わずに
将軍として
王国騎士団に
属したいとも
思ったことは
ないの？」

ああ
ないよ

うーん……
朝と夜

俺さんは
どうしたいと
思ってたんだ

「オズが
俺さんを見て
と決ったよ

「オズ君は
俺さんを見て
と決ったよ

「オズ君は
俺さんを見て
と決ったよ





「だが
お前はその時に
できるベストな
選択をした」

「俺は」

「完璧な騎士で
あるために
騎士の資格を
失った……」



「……革命の真実……」

「父さんが
王にならないうのは
『革命の真実』に
関係がある……」

「騎士は
弱くていい
王座を倒した
ってコトに
なってるけど
も……」

「」

父さんは

……

本日は
千鶴のことが
大好きです

騎士でいるのも
重くなるのも
イヤになった

んっけ

本日は
革命を
起こした
あなたに
なつかしく
なりました

それが
革命の
真実？





ひんひん
ひんひん

……
おひさ……

俺だっけ
マサキに
聞いたよした
王は悪いだ

……
いいけど



すまん
すまん
すまん



なれないんだ
ロキ

……
おひさ……

だから
騎士では
いられないんだ



俺は
こんな風に
騎士でしてしまつから

……



「でも
オズマおじさんは
足る人に王になって
ほしいんだよな」

オズマは
俺を王に
望み続け

俺はそれを
拒み続ける



そのボーイは
革命の一族だ

……

オズマが望いた
革命のボサリオ



革命のことを
どう聞いている

「戦争を
続けることに
反対した騎士と
王家の一族が
絶滅して」

父さんと
オズマおじさんが
王に推挙
されたって

王は
承認したけど

王様の推挙を
議会に賛成
する前に私室で







リゲイン
ルツカノカーク
——
愛は誰が為

リゲイン
ルツカノカーク

愛は
誰が為

9-12-13-14-15

無事にはた
るす

あつた、おれを
かたがたおれ
おれおれ

あつた
おれおれ
おれおれ
おれおれ

おれおれ
おれおれ



僕が主を殺したんだ

……

大層じゃない

罪りで



王様は、
王様を助ける
ために

王様

王様は、
王様を助ける
ために

王様は、
王様を助ける
ために

王様は、
王様を助ける
ために

王様は、
王様を助ける
ために

王様

王様

王様は、
王様を助ける
ために

王様は、
王様を助ける
ために



「おれに
やれるのは

「おれに
やれるのは



事を様















Landreaall

15

2009年12月5日 初版発行

著者／おがき ちか

発行者／杉野 謙介

経営編集／丸山 常司

発行所／株式会社一迅社

〒153-0022 東京都港区南青山2-9-10 成田ビル8F

電話 03-5312-8533(編集部)

電話 03-5312-8130(営業)

印刷・製本／圖書印刷株式会社

装幀／小石川ふに <decorator>

本書の装幀または一部を無断で複写・コピーすることは、著作権法上の権利を侵害し、罰じられています。

図丁・図下巻は株式会社一迅社蔵書館までお送りください。送料・送料負担にてお取寄せいたします。

定価はカバーと表紙に記されています。

ISBN 978-4-7550-5902-4

おさがりも本／一迅社2009 Printed in JAPAN

図はミックス

※この作品はフィクションです。登場人物・団体・事件などは実在しません。